

開催レポート

2019年度第1回「ヒトゲノム研究倫理を考える会」

ー ゲノム指針改正に向けた提言とりまとめのための専門家ワークショップ ー

日時：2019年7月4日(木)15:00～17:00

会場：大阪大学（吹田キャンパス）、およびオンライン

「2019年度第1回ヒトゲノム研究倫理を考える会」を、ゲノム指針改正に向けた提言とりまとめのための専門家ワークショップとして、大阪大学、およびオンラインで開催した（司会：大阪大学医学系研究科 加藤和人教授）。

はじめに加藤教授よりワークショップの開催趣旨について説明があり、次に文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室長の前澤綾子氏よりゲノム指針改正の最新状況について情報共有が行われた。続いて、2018年度第6回ヒトゲノム研究倫理を考える会-指針改正に現場の声を届けるために-ワークショップで挙げられた、現指針についての現場の声のまとめ8項目について、提言をまとめるための意見交換が行われた。

参加者は、3省の指針改正関係者、指針改正関連の委員会等メンバー、先進ゲノム支援連携研究者より招待形式とした。当日の参加者は以下の通り。

<参加者一覧（敬称略、順不同）>

前澤綾子（文部科学省研究振興局ライフサイエンス課）

徳永勝士（国立国際医療研究センター）

川嶋早苗（JST バイオサイエンスデータベースセンター）

瀬戸山晃一（京都府立医科大学大学院医学研究科）

増井徹（慶應大学医学部臨床遺伝学センター）

加藤和人（大阪大学大学院医学系研究科）

GS ユニット事務局（大橋範子、山崎千里）
